

## 東京 2020 大会関連イベントに参加しよう！ ～文化・芸術を通じて共生社会の実現へ～

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、共生社会の実現や、「健康」応援都市の実現を目指して、東京 2020 大会のポジティブなレガシーをつくるため、スポーツだけでなく、文化や芸術の分野のイベントを開催します。

### 1 多摩六都フェア パラアート制作ワークショップ

#### ◆日時

9月7日（土）、14日（土）、21日（土）、28日（土）

#### ◆場所

西原総合教育施設

#### ◆対象

圏域5市（西東京市・小平市・東村山市・清瀬市・東久留米市）に在住・在学の中学生・高校生で障害のある方で、定員 10 名まで

#### ◆参加方法

8月30日（金）までに必要事項を記載のうえ、郵送またはメールにて文化振興課まで申込み



《展覧会の様子》

#### 【レガシー】

障害のある方に対する圏域市民の理解や認識を深め、多摩北部地域の振興を図るとともに、東京 2020 オリンピック・パラリンピックの機運醸成へ向けた取り組みとしても位置づけ、障害のある方の社会参加の促進や相互理解の促進など、多摩北部地域における共生社会の実現に寄与するものです。

#### 【イベントの魅力】

市域を越えた文化事業を実施し、圏域住民の文化交流を図る多摩六都フェアの事業として、昨年度に引き続き、今年度も障害の有無に関わらず、誰もが文化芸術に親しめるようパラアート制作ワークショップを開催します。

ワークショップ終了後には圏域5市を順番に回ってパラアート展覧会を行い、制作した作品を展示します。ワークショップ参加者以外の方からも展覧会へ出品する作品を募集し、表彰式を行います。

【問い合わせ先】生活文化スポーツ部文化振興課（TEL：042-438-4040）

## 2 縄文の秋まつり

南関東最大級の下野谷遺跡で縄文時代を見て聞いて学べ、子どもから大人まで楽しめるイベントです。

◆日時

10月6日（日）午前10時～午後4時

◆場所

下野谷遺跡公園

◆参加方法

当日直接会場へお越しください。



《昨年度の様子》

### 【レガシー】

東京 2020 大会はスポーツだけではなく文化の祭典でもあります。日本文化の基盤である縄文文化に楽しみながら触れ、その特徴ともいえる自然と共生する社会の魅力を世界に発信し、未来に継承します。

### 【魅力】

VR（バーチャルリアリティ）での 5,000 年前の「したのやムラ探検」や縄文体験コーナーに加え、弓や火おこしなど縄文人の技を競う、「縄文オリンピック」プログラムも行います。

【問い合わせ先】 教育部 社会教育課（TEL：:042-438-4079）

## 資料のポイント

東京 2020 大会に向けたこれまでの取り組み

- 平成 29 年度から「Game Changer プロジェクト～パラスポーツで社会を変える～」を通じて共生社会の実現に向けた取り組みを実施。  
（オランダオリンピック委員会・スポーツ連合との連携プロジェクト）
- 平成 30 年 12 月 28 日に、オランダを相手国とするホストタウンに登録。
- 今後、スポーツをはじめ文化・芸術など様々な分野で、オランダとのさらなる交流の充実を図り、東京 2020 大会に向けた機運醸成と共生社会の実現に向けた取り組みを加速させます。